

出水対応を想定した防災訓練を実施しました！

石狩地方と胆振地方を中心に、停滞する低気圧と上空に流れ込んだ寒気の影響により大気が不安定な状態となり9月11日未明から記録的な大雨となりました。(支笏湖畔雨量観測所では総雨量 380mmを記録) この大雨に伴い道内初となる大雨特別警報が発表され、岩見沢市など7つの自治体で避難勧告が発令されました。

近年、記録的な大雨が全国各所で発生しており、大雨による洪水への迅速な対応が求められてきています。岩見沢河川事務所は石狩川や旧美唄川など14の河川を管理しており、管理延長は約140kmになります。この広い管理区間に洪水が発生した際、堤防等に異常がないか迅速に把握するための巡視訓練を実施しました。訓練では巡視ルートや堤防点検項目等の確認を行いました。洪水時でも、関係機関等と情報を共有し連携することで迅速な対応を行い、安心した暮らしをつくれるように努めていきます。

大雨特別警報の発表基準

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され(大雨を要因)、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合(台風等を要因)に気象庁から発表される。



9月11日の大雨対応状況



防災訓練 巡視状況

ホームタンクからの油漏れにご注意！

寒い季節を迎えストーブを使用するシーズンが近づいてきました。ご家庭では灯油の補給を始める時期ですが、その際はホームタンクからの油漏れにご注意ください。

今年は破損したホームタンクから油が河川に流出する事故が増えています。河川に油が流出した場合、下流部の利水者や河川環境に大きな影響を与えることがあります。



オイル吸着マット設置状況



オイルフェンス設置状況

オイルフェンスは下流への油の流出を防ぐために設置します。初動対応が早いほど、油の流出を最小限に留めておくことが出来ます。

油漏れが発生した際は流出を防ぐために油の回収作業を行います。回収作業で発生した費用は、「原因者」の負担となる場合がありますので、灯油の補給前にはホームタンクの点検をお願いします。

また、油漏れを発見した際には、直ちに岩見沢河川事務所や各自治体への連絡をお願いします。

幾春別川 魚染の滝の擁壁を復旧しました！

三笠市のジオパークに認定されている「魚染の滝」において、融雪洪水により擁壁が変状しました。擁壁背面には、市道や民家があるため、台風期までに早期の復旧を目標に工事を行いました。急ぎの工事でしたが、魚染の滝は秋には紅葉などの観光名所でもあるため、木々の伐採範囲を最小限に抑えて保護するなど景観に配慮した復旧を行いました。



復旧前 (5月)

融雪洪水により
傾いた擁壁の
復旧工事を実施！！



復旧後 (8月)

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL : 0126 (23) 9555



国土交通省